

あさごまちづくりニュース

Vol.
2025/8

15

女性に 選ばれるまち



加藤 たかゆき

朝来市議会議員
後援会

個人個人が生き方を選ぶ時代です。男性優位意識が残る町は女性の流出で消滅します。女性に選ばれるまちづくりが必要です。今回は特に、**女性が働きたくなる朝来市**をどう作るか議論しました。



結婚から出産、子育て、就業に至るまでの一連の取り組みを深化させ、女性に選ばれ女性が活躍できる環境を整えることで**女性に好まれるまちづくり**を推進してまいります。(令和7年度施政方針)



ジェンダーギャップ※の解消を図り、**女性・若者に選ばれるまち**をつくることで、転入と転出の差を解消し、社会増減ゼロを目指します。(5/19市議会 市長就任挨拶)



なぜいま、女性に注目するのか？



昨年の朝来市への転入数は男性385人に対して女性が335人と1割少ない。人口減少を止めるに**女性の転入増**が必要。そのためにジェンダーギャップを解消し、性別によらず子育てしやすい、働きやすい環境を整えたい。



どのような**ジェンダーギャップ**を優先的に解消すべきと考えるか？



固定的な性別役割分担や性別に基づく偏見・固定観念を無くすようみんなで考えたい。



個人の意識を変えるのは時間がかかる。まずは**職場のジェンダーギャップ**を解消すべきと考える。理由は3点。

- ① 就職のタイミングで帰ってくる女性が少ない
- ② ジェンダーギャップ解消は企業成長の糧になる
- ② 石破内閣の地方創生2.0でも推進されている

特に今回は、山形県**酒田市**の取り組みを参考に考えたい。



提言①

酒田市にならい、税務課に集まる給与支払報告書のデータから市独自で**男女の賃金格差**を数値化し、目標を掲げ解消に取り組むべき。

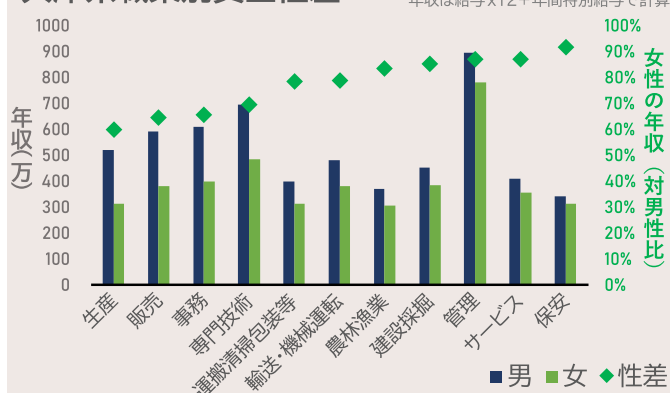


データの扱いは慎重にすべきだが、酒田市の取り組みは研究したい。賃金格差解消は国も進める重要な課題だ。

兵庫県内の賃金性差を職業別に表したものの。生産・販売・事務など、朝来市でも女性比率が高い職業が上位。市独自のデータがあればより精緻な分析が期待できる。

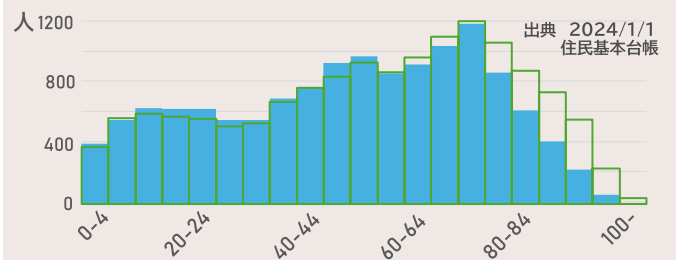
兵庫県職業別賃金性差

出典 令和6年賃金構造基本統計調査
年収は給与×12+年間特別給与で計算



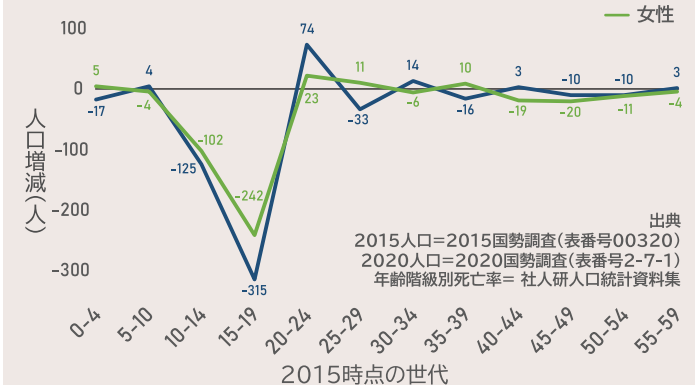
※ジェンダーギャップ 男女の性差から生じる格差・不平等

朝来市男女別・年代別人口構成



10代から50代までは男性のほうが女性よりも若干多い。60代以降は女性が多い。

朝来市男女別・年代別人口増減(2015-2020)



大学進学タイミングでグッと減り、就職のタイミングで人口は一定数増える。女性のUターンが鈍い。



豊岡市は職場に焦点を当てた格差解消に取り組んでいる。市は優良企業の認定や女性リーダー塾を開講。ばね工場では女性社員が技能国家資格を取得。温泉旅館では女性料理長や男性客室係を配置するなど、職場改革により企業が成長している。
(大崎麻子、秋山基『豊岡メソッド』)



「若者や女性が働きやすく魅力ある職場づくりを進める」
(石破首相施政方針演説 1月24日)

私たち会派「清風の絆」は5月に**酒田市**を視察した。同市は2017年、「**日本一女性が働きやすいまちを目指す**」宣言を実施。5つの目標を掲げ推進している。

- ① 職場における男女の不平等を感じる割合(40%)
- ② 家庭における男女の不平等を感じる割合(40%)
- ③ 女性の男性比の給与水準(68%)
- ④ えるぼし※1認定企業数(7社)
- ⑤ 一般事業主行動計画※2を策定する100名以下の事業者数(30社)

※1国が認定する女性活躍優良企業
※2仕事と子育ての両立等について事業所が定める計画



酒田市HPから引用

長時間労働しないと成果が出ない、そんな職場環境は所得格差を生む一因だ。子育てと長時間労働は両立しない。そのため**多くの女性がキャリアをあきらめている**。米国の獣医師・薬剤師業界は組織化や代替職員確保により長時間労働を無くし格差を解消している。(クラウディア・ゴールドウィン[著]、鹿田昌美[訳]『なぜ男女の賃金に格差があるのか』)



男女の所得格差のうち約8割は「年齢・学歴・勤続年数・職業・労働時間・職階」の6要素で説明できる。残り2割は「**説明できない格差**」である。その原因の一つに「**統計的差別**」がある。経営者は女性の高い離職率を見て、女性を教育投資の少ない職に配属する。実際は逆で、女性は成長できない職に就かされることで早々に仕事に見切りをつけるのである。(山口一男『働き方の男女不平等』)



提言②

「但馬産業大賞」を受賞した市内企業等の取り組みを積極的に横展開すべき。



昨年度、山東工業団地に本社を構えるママキッチン(株)が「**但馬産業大賞・但馬で働きたい優良企業部門**」を受賞した。役職・職種間の男女平等や、休みの取りやすい仕組み、身体に負荷のない工場設計などが評価されている。市内外にPRしたい。



提言③

山東町大月に現在計画中的の**新産業団地**に「森の中の散歩道」や「地元野菜も買えるカフェ」を設け、女性の働きやすくなる環境を整えるべき。



性別に限らずすべての従業員が快適に働ける産業団地としたい。女性や若者に好まれる成長産業を中心に企業誘致を行っていききたい。



提言④

IT分野は柔軟な働き方が可能で、女性の稼ぐ力の向上が一層期待される。朝来クリエイタースクールの卒業生と市内企業をつなぎ、SNS代行やチラシ制作などの仕事で市内経済を循環させる仕組みを構築すべき。



クリエイタースクールの委託業者には、卒業後の学び直しや個別レッスン、仕事の斡旋等も含めて委託をしている。卒業生39名中14名が就職や副業につながった。

朝来市のママキッチン

(株)の工場は、「従業員が垂直に物を持ち上げないようにする」ことを徹底した設計。性別にかかわらず身体に負荷なく働けることを目指している。



ママキッチンHPから引用



酒田市で訪問した(株)プレステージ・インターナショナル。社内保育所や体に優しい社員食堂の他、オフィス内を散歩したくなるよう距離を表示したり、定期的にミニマルシェを行い、地元のパン屋や魚屋などが出店する。



朝来クリエイタースクールは女性を対象にWebデザインや動画編集等の技術を教える市営塾。2023年から始まり、今年も開講予定。

写真=ママクリエイターラボHPから引用



その他、以下の提言を行いました。

- ⑥家族農業の推進のため、**家族経営協定**の締結促進
- ⑥多様な働き方推進のため、市役所職員の**支所リモートワーク**導入
- ⑦更年期への理解促進のため、市役所職員の**更年期休暇**導入

選挙ポスター公費負担額アップに反対!

6月議会議案49号に反対しました。選挙ポスター作成費の公費負担上限を国に合わせて増額するもの。過去実績額や他市基準と比較すると現行で十分な金額です。増額は税金の不要な負担増を招く懸念があります。市独自の基準額制定を求めます。



現行 1,436円/枚

▼ 反対

改正後 1,514円/枚

根拠

2013年朝来市実績 540円/枚

穴栗市独自基準額 1,129円/枚

加東市独自基準額 973円/枚

※単価は現行の掲示場数から算定



酒田市産業振興まちづくりセンターHPから引用

酒田市サンロクIT女子プロジェクト。女性へのIT技術講習は朝来市と同様だが、産業振興センターが卒業生へ仕事の仲介をする点が異なる。経済循環を生む好事例と感じた。



次回(9月上旬)は「デザインのあるまち」を質問する計画です。ご意見お寄せください!

選挙ボランティア募集!

10月の市議会議員選挙に際し、加藤の選挙運動・事前準備で以下の作業をしてくださる方を募集します。

- ① 政治活動チラシのポスティング(10/1-18)
 - ② 掲示板への選挙ポスター貼り(10/19)
 - ③ SNS発信(10/19-25)
 - ④ 街頭演説でのビラ配布(10/19-25)
- 詳細・応募は右のQRコードからお願いします。



加藤 たかゆき
後援会

朝来市生野町奥銀谷1513
090-4494-6175
takayuki1983@gmail.com



LINE



Facebook



Instagram

お気軽に
ご連絡を!